

# 至誠館大学

科目名	生徒・進路指導の理論と方法			コード			
英語表記	Theory and method for guidance of pupil personnel work and career						
担当教員名	熊谷 信順			年度	平成28年度		
基準年次	2年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式		履修形態	教職		
授業概要							
教育課程と生徒指導・進路指導の関係をふまえて、生徒指導・進路指導(キャリア教育)が目指すところを学ぶ。これらの指導の理論的基盤とともに、指導法についても学ぶ。							
到達目標							
生徒指導が目指すこと、および生徒理解の意義理解できる。 進路指導の意義を理解する。 これらの指導を支える基本的な考え方と方法を理解する。							
授業計画							
第1回	生徒指導の意義と原理 教育課程との関係						
第2回	生徒指導を支える人間観 個性伸長と社会的生き方、生徒指導の課題						
第3回	生徒の自己理解と教師の生徒理解						
第4回	生徒の発達の理解 青年期の意義						
第5回	青年期問題行動の発達の理解						
第6回	社会的適応と問題行動 問題行動とは何か						
第7回	問題行動の発見と予防						
第8回	問題行動への対応と指導						
第9回	懲戒と反省指導						
第10回	進路指導のねらい						
第11回	進路の世界を理解する						
第12回	キャリア発達の考え方						
第13回	進路指導とキャリア教育の関係						
第14回	キャリア教育の方法 キャリア教育において身につけるべき能力						
第15回	自己理解と進路相談						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
随時課す課題と筆記試験による。 ただし、随時課す課題の提出は期末試験受験の条件とする。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
						100	
授業外学習			テキスト、教材				
最低限、その日のうちにノートを見返して授業内容を思い起こし、たどってください。			必要に応じてプリントした資料を提供する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
「生徒指導提要」(文部科学省)2010、教育図書 「高等学校キャリア教育の手引き」2011、文部科学省			自分の手で自分用のノートを作成するように心がけてください。 日常の自分の経験に関連づけて学んでください。				
キーワード							
「私」と「公」、「理解」とは、青年期の意義、問題行動、キャリア発達、自己実現							